

永年の功績をたたえ

春の叙勲

◆ 旭日双光章



田原英征さん
(神埼町)
元神埼町長

高齢者叙勲

◆ 瑞宝双光章



吉田 肇さん
(千代田町)
元佐賀市立金泉
中学校校長



田中 豊さん
(千代田町)
元九州農政局佐賀統計情報
事務所業務部作物統計課長

受賞おめでとうございます

県政功労者知事表彰

(保健衛生)



陣内美和子さん
(神埼町)
仁比山小学校薬劑師

カヌー世界大会で5位入賞!



5月25日から27日にスロバキアで開催された、2012ピースタニー国際カヌーレガッタに日本代表として出場した神埼高校の野口夏子さん(神埼町永歌)が、女子カヤック500m部門で世界5位、1,000m部門で世界8位に入賞を果たしました。おめでとうございます。

熊本電気工業が『省エネ大賞』を受賞!



5月28日、平成23年度「省エネ大賞」の省エネルギーセンター会長賞を受賞された熊本電気工業株式会社(本社:神埼市神埼町尾崎)の熊本重徳 代表取締役が受賞報告に来庁されました。

同社では効率よく照度を得ることができる反射笠「シャインブライト」を開発。同一規格のランプで1.5倍~2倍の明るさが得られるほか、照射範囲の調整が可能でバランスのよい照度が確保できるなど省エネ効果が非常に高く、大幅なコストダウン実現により投資回収年数が短期間であることが評価され、この度の受賞となりました。



▲大手企業と肩を並べての受賞となりました

熊本代表取締役は、「この商品の知名度が向上し、地元神埼市のイメージアップにつながり市政の発展に貢献できればありがたい。様々な活動を通して市の発展に役に立てられれば」と話されました。

神埼市チャレンジデー 2012

参加率56.6%!
金メダルを獲得!!
雲南市に勝利!!!

様々なスポーツが行われました

5月30日に神埼市チャレンジデー 2012が開催され、神埼市は、島根県雲南市と対戦を行いました。対戦の結果、神埼市は56.6%(約1万8千人)、雲南市は54.4%という参加率で神埼市が勝利し、金メダルを獲得しました。

チャレンジデーの目的は、市民の皆さんが健康づくりの大切さを実感し、体を動かすことの楽しさに気づいていただくことです。多忙な日でも少し工夫をするだけで運動をする時間をつくることができます。是非これからも健康づくりと、楽しく身体を動かすことを続けていきましょう。皆さん、ご参加ありがとうございました。



▲ミニバレー (次郎体育館)



◀ 気功 (次郎体育館)



◀ ウォーキング (吉野ヶ里遺跡)

ドリームパーク 今年もスタート

いろいろな体験活動と世代間交流ができる、放課後子ども教室推進事業「神崎市ドリームパーク」が、今年度も5月23日から、市内7つの小学校合わせて15グループではじまりました。

初日のさいごう・星グループでは、まず、化石が含まれていることで有名な栃木県塩原の石を、かなづちとヘラを使って割り化石を探す体験が行われ、参加した児童は「こんなに化石が出るとは思わなかった」と約30万年前の植物の化石に驚いた様子でした。

続いて「舞キリ」という道具を使って火おこしに挑戦、苦勞して火が付いた瞬間には歓声があがっていました。

今年で9年目を迎えるドリームパークは、作る・遊ぶ・学ぶを3つの柱に、料理や工作、スポーツなどの体験活動が今後も予定されています。



◀化石が出てきたよ!



◀うまく火がつけられるかな

元気にイチゴ狩り

5月8日、西郷保育園の園児たちが樋口巽さん(下六丁)のビニールハウスで、6月5日には、仁比山保育園の園児たちが平英典さん(竹原)のハウスでイチゴ狩りを楽しみました。

ハウスの中で葉を掻き分けながら真っ赤に色づいたイチゴを摘みとっていた園児たちは、はしゃぎながらも良い体験学習ができました。

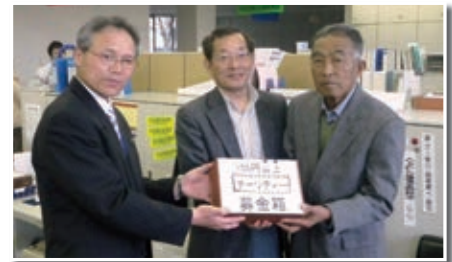


▲たくさんとれたよ(西郷保育園)



▲ありがとうの手紙をプレゼント(仁比山保育園)

市の振興に役立てて チャリティカラオケ寄付金を寄贈



4月22日に千代田文化会館「はんぎーホール」で第15回チャリティカラオケ発表会が行われ、主催者であるサイド・B カラオケ愛好会の松尾伸茂会長から、市の振興のために役立てて欲しいと収益金の一部57,810円を寄付いただきました。ありがとうございました。

元気いっぱい!初めての運動会 ~すくすくカーニバル~

5月27日、神埼中央公園体育館で乳幼児運動会(神崎市体育協会主催)が開かれました。

市内の3歳未満の乳幼児45人が参加し、選手を代表して、谷陽真くんが元気いっぱいに選手宣誓を行いました。その後は体操やかけっこ競走などが行われ、ハイハイ競走では、元気にハイハイする赤ちゃんや泣き出してしまふ赤ちゃんも。



▲お父さんも一生懸命

当日の会場は、乳幼児の元気いっぱいの笑顔と、お父さんやお母さんたちの応援の声に満ちあふれ、思い出に残る運動会になりました。



▲親子でサンサン体操

いざという時に備えて 赤十字救急法実践講習会



▲心臓マッサージを实践

5月15日、神崎市中央公民館で「1000人赤十字救急法実践講習会」（日本赤十字社佐賀県支部、神崎市、吉野ヶ里町共催）が開催されました。市内外から62人が参加し、講堂で人工呼吸・心肺蘇生法等について約2時間の講習を受けました。

参加者は、思わぬ事故や災害にあった人、急病になった人に対して、医師や救急隊に引継ぐまでの手当や、AED等の使い方を学ぶなど、真剣な表情で講習に取り組んでいます。

神崎市B&G海洋センターが受賞

5月23日に行われた平成24年度北九州ブロックB&G地域海洋センター連絡協議会総会で、神崎市B&G海洋センターが平成23年度海洋センター利用者人数（艇庫の部）で全国第9位に、また、センターの活動を広く周知し積極的にテレビ番組への取材協力を行ったとして、2011B&G広報大賞（テレビの部）優秀賞を受賞しました。

これからも「スポーツ・健康・人づくり」の拠点として、皆さまのご利用をお待ちしています。



▲賞状と副賞のライフジャケットを受け取る實松教育長

市民の健康を食で支えよう 神崎市食生活改善推進協議会総会

神崎市食生活改善推進協議会（山口好子会長）の平成24年度総会が、5月16日、神崎市中央公民館で行われました。

食生活改善推進協議会は、各地区で栄養教室を開いたり、市内の各種イベントでヘルシー食を普及したりと活躍中です。

130人の会員（愛称 ヘルスメイト）は、「今年度も市民の健康づくりを支援していきましょう」と語り合い、気持ちを高めていました。

また、総会後には松本市長が「神崎市のまちづくり」について講演しました。



▲講演に熱心に聴き入る会員の皆さん

神崎市ソフトボール大会

5月6日から、第7回神崎市ソフトボール大会（神崎市体育協会主催）が開催されました。

市内49地区の様々な年代の男女が参加し、A・Bパートに分かれて、熱戦を展開。5月30日にはチャレンジデーにあわせ、準決勝と決勝戦を行いました。

白熱した試合結果は、次のとおりです。

- | | |
|-----------|----------|
| ○Aパート | ○Bパート |
| 優勝 岩田 | 優勝 新宿 |
| 準優勝 二子 | 準優勝 十条 |
| 3位 本堀、小森田 | 3位 横武、崎村 |



▲Aパート優勝 岩田



▲Bパート優勝 新宿



▲Aパート準優勝 二子



▲Bパート準優勝 十条

県境を越えた災害ネットワークに加盟

市町村広域災害ネットワーク協定調印式

6月4日、東京都都市センターホテルで「市町村広域災害ネットワーク」の協定調印式が開催され、18府県19市町が加盟しました。

佐賀県では神崎市のみが加盟しており、県境を越えた自治体間での災害ネットワークで大規模災害時に不足する防災力を補い、公的防災力の強化を図ることにしています。

加盟団体は次のとおりです。

大阪府泉大津市(幹事)、兵庫県高砂市(副幹事)、山梨県甲府市、岡山県玉野市、愛知県刈谷市、宮崎県日向市、奈良県大和郡山市、福岡県行橋市、福岡県苅田町、京都府八幡市、岐阜県可児市、滋賀県野洲市、島根県益田市、三重県亀山市、山口県柳井市、静岡県磐田市、和歌山県橋本市、高知県香南市、佐賀県神崎市



建設に向けた協議が始まりました

葬祭公園整備促進協議会が発足



神崎市と吉野ヶ里町による神崎市・吉野ヶ里町葬祭公園整備促進協議会が、6月8日、発足しました。

このほど両市町において、地域からの土地利用の要望も合わせて、神崎市内の小淵・志波屋・三谷地区にまたがる土取り場跡地を有力候補地として、共同建設への協議が整い、協議会設立の運びとなりました。

会長に松本市長、副会長に江頭吉野ヶ里町長が就任し、今後は、葬祭公園建設の実現に向けて、行政と地元の協調を基本に協議・調整を進めていきます。

市民の安全を守るために

神崎市水防協議会を開催

本格的な大雨シーズンを前に神崎市民を水害から守る計画の協議・修正を行うため、神崎市水防協議会を5月29日、神崎市役所で開きました。

会議では、松本市長を中心に、市民への迅速な情報伝達の確認、市内の重要な水防箇所の把握等を協議しました。

会議終了後、出席者全員で城原川堤防の工事状況を視察し、担当者から説明を受けました。

神崎市では、今後も市民の安全安心のために努力していきます。

